



渡し舟 お話会 + ワークショップ

暮らしと、からむしと。

暮らしと、からむしと。

— 昭和村のからむしと生活のお話会・からむしの布を使ったワークショップ —

福島県奥会津の昭和村には古来、イラクサ科の植物“からむし”を育て、手で糸を績んで織る布づくりがあります。はじめて昭和村を訪れた2014年の夏。からむしの布に魅せられて昭和村に移住し、技術を受け継ぎ、その魅力を伝えようと活動している『渡し舟』の渡辺悦子さんと舟木由貴子さんに出会いました。ちょうどわたしが山梨県北杜市に移住してまもない頃で、昭和村を大切に思いながらしなやかに根づいている二人の様子が、味わい深いからむしの布とともに心に残り、いつか自分の暮らす場所でご紹介したいと思ったのでした。それから2年経ち、ようやく『渡し舟』のお話会とワークショップを開催することになりました。昭和村のこと、からむしのことを二人に語っていただき、実際に布にもふれて、ポケットティッシュケースづくりを行います。自然に寄り添いながら手仕事で生み出されるからむしの布を、身近な暮らしのなかに感じていただけたら幸いです。

藤井繭子

日 時 2016年11月18日（金）13時～16時

場 所 藤井繭子のアトリエ（北杜市 小淵沢駅徒歩10分）

定 員 8名

参加費 3千円（材料費込／昭和村の素材でつくったお菓子つき）

持ち物 裁縫道具は一式ご用意しておりますが、
使い慣れたものがございましたらお持ちください

問合せ・申込み info@mayuko-fujii.jp

■ 普段、ほとんど裁縫をされない方でも簡単にできる内容です、お気軽にご参加ください ■

プロフィール

渡し舟：昭和村で結婚し渡辺と舟木となった二人の姓の頭文字をとり、昭和村の内と外を
つなぐ渡し舟となることを願い名づけスタート。

渡辺悦子：

東京で土木設計コンサルタントの会社勤務後、2001年昭和村からむし織体験生として昭和村へ移住。以来、からむし栽培、制作活動を軸に昭和村で生活を送る(1児の母)。

舟木由貴子：

大学でテキスタイルデザインを専攻、会社にてカラーデザインの業務に携わる。2003年に昭和村からむし織体験生として昭和村へ移住。以来、からむしと関わりながら昭和村で生活を送っている(3児の母)。

藤井繭子：

大学卒業後、紬織重要無形文化財保持者 志村 ふうみ氏、洋子氏の京都の工房で染織を学ぶ。鎌倉にて独立。身近にある草木で糸を染めて織ったきもの制作を中心に、ワークショップも行う。2014年より山梨県北杜市に拠点を移し活動している。

<http://mayuko-fujii.jp>